

第37回東日本本部 拡大委員会を開催!



【特別発言・青年部】



(組合員の購読料は
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 常盤達雄

No. 828 定価 20円

2020年
2月28日

1人で悩まず
国労へ相談。
みんなで楽しく
がんばろう!

QRコードから
でも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

国労東日本本部は、2月8日に新橋・交通ビルにおいて第37回拡大委員会を開催しました。討論では、東日本青年部4名の特別発言を含め、15名の真摯な発言により当面する闘争方針を確立しました。2020春闘勝利、最重要課題である組織の強化・拡大、JRで働くすべての労働者の労働条件の改善に向けて全力を挙げて取り組むことを確認しました。



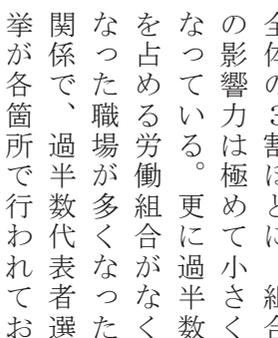
【議長】盛岡・及川 委員
【副議長】東京・湊 委員

委員からの発言

- 長野・折橋委員**
●第三者加害が発生。集会で再発防止の対策を考え、組合の重要性を若手社員に示していく。
●組織拡大をした松本駅分会の書記長が配転。嫌がらせ人事としか思えない。
●私たちがいる間に、若い人たちへ「労働者とは・労働組合とは」を伝えていく。
秋田・宇佐美委員
●職場代表選挙で他労組と共闘し組合側候補が当選。
- 安全衛生委員会を選出。**
●駅の業務委託で釣銭準備金不足などスムーズな移行がない。労働組合らしい要求で改善させる。
●ストを背景に春闘を取り組む姿勢こそ国労運動。
東京・岡部委員
●再雇用提示が遅い。提示が遅れ退職を余儀なくされた方も。会社に強く抗議を。
●高プロ制度。職場代表になった場合、導入反対意見を書き込む意思統一を。
●オリパラ開催で、終電時間延長。労働条件の明示と要員確保の申し入れを。
●春闘は企業内に収めた闘いでは大きな力にならない。
水戸・黒澤委員
●常磐線の全面開通。放射線基準値の高い所が多数。組合としてチェック機能を果たしていきたい。
●組織拡大提起してきたが



- 本気だったか問われる。残る時間で出来る事をやる。
●職場代表選挙で初めて国労が代表に。他労組と信頼関係をつくった成果。組織拡大と結合させ取り組む。
仙台・伊藤委員
●運輸区職場では休日勤務が異常に増加。女性社員の過呼吸での緊急搬送。心の病など要員問題に起因。多くの駅が委託化。残る窓口は長時間着座など労働環境が悪化。交通弱者置き去り。
●エルダー再雇用で仙台から山形への提示。持病があり、辞めると言っているようなもの。支部では街頭宣伝、残る行動はストライキ。
盛岡・田崎委員
●加入の声掛けをしても労働組合は懲り懲りだという声。労働組合でしかできない事を訴えていく。
●地方交通線の維持存続で、利用状況は厳しい。交通労協と連携していく。
●安倍政権は重要法案を数々の力で強行採決。地方議会選挙を勝ち取り、共闘組織との闘いを作っていく。
●乗務員基地再編で支社間移動に不安の声。



労働組合への信頼を高め、加入拡大の取り組みを!
(全文はHPに掲載)
まず始めに昨年の台風等被害により多くの組合員が被災されたことに心よりお見舞い申し上げます。また義援金カンパに多くの支援・ご協力を頂き衷心より感謝申し上げます。
2020春闘は拡大中央委員会決定された運動方針に従い、グループ会社も含めしっかりと要求していく。未加入者とともに職場要求を作り上げ「社員の声」として要求獲得に向け大衆行動などを展開し、賃金交渉を進めていく。

職場の情勢は、本体における組合組織率は社員全体の3割ほどに。組合の影響力は極めて小さくなっている。更に過半数を占める労働組合がなく、関係で、過半数代表者選挙が各箇所で行われており、取り組みを強化してきた。結果、国労組合員が代表者を勝ち取ったり、安全衛生委員に選出されている。労働条件や職場環境に関心を持ってもらうことに繋がった。今後代表者の権限と団結することの重要性を理解してもらおう機会を作っていく、職場からの加入拡大の取り組みを強化していく。
会社は「変革2027」のもと、制度改正や施策の展開を図っている。しかしながら変革のスピードについていけない現場の実態が明らかになっていく。急激な変化で労働者、社員が犠牲になってはいけない。各種施策の検証と問題解消に向けて取り組んでいく。
安倍政権はオリ・パラを成功に導き、震災からの復興を発信し自身の手腕を広くアピールして「改憲」に向かおうとしている。都合の悪い「桜」や「IR」での答弁は聞いてあきれられるものであつた。このような悪政に一日も終止符を打たなくてはならない。
各委員の真摯な討論により2020春闘をはじめめとする当面する闘争方針が確立されるよう要請し、執行委員会を代表しての挨拶とする。

【特別発言・青年部】

千葉・飯田委員

●10年以内に組合員は全員退職。若手に国労の良さを伝えるが、入ってくれない。それでも、全体で団結して組合員を増やしていこう。

和賀・青年部常任委員

●昨年から東日本本部青年部常任委員に。自分の目で見て耳で聞いて、運動を肌で感じたいと思いついた。

戸田・青年部常任委員

●退職が近づき、気持ちも薄れてしまう方も見受けられる。今日の国労を築いてきた熱い情熱と揺るがぬ信念を忘れないでほしい。

木村・青年部書記長

●「5年ビジョン」を青年部でも議論。一致している意見は、三十数年前、諸先輩方が、この道を選択し決断したように、我々青年部も目の前の困難からは逃げない。5年と言わずその先の未来を共に描くと意思統一した。

東京・粉川委員

●台風時に計画運休。職場の出勤・退勤など個所によって違いが大きい。整理し支社に投げかける。

JESS 駅で作業ダイヤの無い駅を試験的に導入。自由に作業をさせ、労働時間管理まで社員に押し付け。

●職場代表の社員に、次回は辞退させるためか、色々な会議を押し付ける。



社員代表選に全力で取り組み、職場で支持を得て、組織拡大に結び付ける。

仙台・渡邊委員

●ワンマン運転拡大。黒磯〜新白河間はダイヤが改正から5両でワンマン。駆け込み乗車が特に懸念。

●春闘にあたり分会集会で意思統一。郡山で拡大に関わってきた組合員を交えて交流。加入した女性組合員も、拡大の取り組みを行っている。

高崎・五十嵐委員

●青年が国労加入。青年女性にこれを契機に呼び掛けていく。待ちの姿勢では達成できない。

●春闘については、労働組合として会社間格差や業績を基本に要求を論じるなどあつてはならない。

エルダー・嘱託職場の労働条件改善に向けた方針を柱に据えている。社員代表を取っている職場では諸問題の改善を求めていく。

東京・高瀬委員

●安倍政権が官製春闘を演出してきたがことごとく破綻。大企業の内部留

保は449兆円。社会への還元など考えていない。

●変革2027策定後の職場環境・労働環境が激変している現状の検証を。

●国労の組織の優位性・存在感の発揮が問われている。国労が必要と言えような取り組みを。

東京・佐藤委員

●職場集会で問題や要望を出し合い、現場長にも手渡し、職場から春闘を闘う姿勢を見せる。

●JESS委託で1徹勤

執行部答弁

●エルダー制度。丁寧な運用を本社本部間で確認してきた。引き続き当該地本と連携し、取り組む。

●高プロについては会社

●オリ・パラ問題。終電延長など言われ、労働条件に関する事もあり、情報提供を求める。また、必要であれば申し入れを行う。

JESS交渉について

●JESSとLiviTの交流会要請。LiviTの交流会にJESSの皆さんも入って頂くこと

務も導入。日中は2〜3時間しか駅員がいない。JESS支店と交渉窓口作りを。

●これまで全ての職協から集約し取り組んできたが、11月から非専従体制で工夫した要求集約と交渉に臨まなければならない。



●青年部アンケートが取り組まれている。改善に向けて闘っていることを見せる絶好のチャンス。是非他労組・未加入の皆さんにも渡して頂きたい。

●JESSにおける災害時の扱いの問題、作業ダイヤにとられない働き方の問題、65歳で直接雇用にならない方への理不尽な扱い。引き続きJESSへ改善を求めていく。

書記長集約

9地本がワンチームをない運動の前進を図ろう!

①「安全・安定」輸送確立、安心して働き続けられる職場づくりに向けて

「変革2027」に向けて、さまざまな施策が進められている。各地方・職協と連携し施策の検証作業を進め、「変革」に追いついていない現実・実態・施策の不備も多く報告され、改善を求めてきた。社内報で富田会長は「機械化やシステム化が進んでも、必ずどこかに見えない落とし穴がひそんでいる。それら見えないリスクに気づく事ができるのは現場第一線の社員だ」としている。労働組合の任務、施策の検証はより重要となっていて、団体交渉の強化を図っていく。

②2020春闘について

東日本会社においては、社員の7割が組合未加入という中で春闘。社員代表選挙など、春闘期間中に取り組まれる課題もある。未加入者の声も反映させ、創意工夫した取り組みを行い、労働組合の存在を示そう。闘いの戦術については、団体交渉の状況を見ながら、



中央執行委員会が判断する。各地方・各職場からの取り組みを通じ、本社交渉を押し上げ、労働条件改善、組織拡大に全力を挙げる。

③最重要課題である組織強化・拡大について

東労組内が再分裂。この動きで12組合が乱立。組合から離れていく社員が更に出ることも推測される。いかに国労としてのメッセージを伝えるのが重要だ。職場の不平・不満は何なのか、それに対してどう取り組みのか、分会や一人ひとりの丁寧な取り組みが大切。

特別発言で青年部4名から加入に至った経過と決意が述べられた。この思いを全体で共有し、もう一人の仲間を国労に迎え入れよう。

④平和と民主主義を守る、政治闘争強化について

現在国会では汚職事件、

「桜を見る会」の私物化疑惑など、連日野党からの追及が行われている。他方「改憲」論議は下火になっているものの、自民党の不遜な姿勢や、中東への自衛隊派遣強行を見たときに、安倍政権を1日も早く退陣に追い込まなければならない。

福島第一原発事故から9年。今も多くの被災者が避難生活し課題は山積。3月の原発のない福島を・県民集会、さような原発全国集会への参加を。

私たちの置かれた状況には、課題が山積しているが、9地本がワンチームになり、運動の前進を図っていたたく事をお願いし、第37回拡大委員会の集約とする。

お詫びと訂正

前号827号の横浜電力技術センター分会加入歓迎会の記事で、加入した辻嘉之さんの氏名表記に誤りがありましたため、お詫びして訂正します。

誤：辻 嘉之
正：辻 嘉之

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。



NEW/ 生きるためのがん保険 Days1

アフラックはがん保険契約件数 No.1

NEW/ 生きるためのがん保険 Days1

NEW/ 生きるためのがん保険 Days1 プラス

すでにアフラックのがん保険にご契約の皆さま

アベニール株式会社 TEL.03-3437-6810

Affac 東京第二法人営業部 TEL.03-3344-3429